

平成25年度 中部縦貫新張地区高架橋下部工事

厳冬の地で、自動車専用道路の橋脚造りに挑んでいます！

1996年入社 味岡 大輔

発注者 中部地方整備局 高山国道事務所

受注者  株式会社長瀬土建

☆建設業に入った動機

自分たちで造ったものが地図に残るとというのが動機でした。

☆仕事のやりがい

入社してすぐ中部縦貫道の工事に携わり約19年間、橋台・橋脚・函渠など多くの構造物を造ってきました。

特に思い出に残っているのは、高さ40m級のとても高い橋脚の工事です。

仕事は辛い時もありますが、地域の方々から「頑張って」「ご苦労さん」と励ましの声を頂いたり、喜んでもらえる顔を見ると、この地域の将来を支える道造っている自分に誇りが持て、とてもやりがいのある仕事だと思います。



☆私の役割

現場代理人として、現場で働く全ての作業員が安全でスムーズに工事が進捗するように、下請負業者や監督職員と打ち合わせをしながら、作業の指示を行うことが私の役割です。

私たちの業場では、ODSCと呼ばれる目的・成果物・成功基準を明確に設定する手法を用いて、作業員全員で仕事の方向性をしっかり統一し共有しており、現場で安全に作業ができる環境を整え、より高い品質を持った社会資本を地域にお届けする使命を果たせるよう、日々取り組みを行っています。

☆若者へのメッセージ

建設業におけるモノ造りには、感動と達成感があります。

今は現場の作業も様々な面でIT化が進んでいます。こうしたツールを駆使して、現場のチームワークで歴史に残る構造物を造りあげていきます。

ちっぽけな自分一人ではできないことを、情報化された機械の力と、人間の知恵を融合させ、巨大な構造物を造りあげていくこのプロセスが完結した時、心から感動し簡単には得ることのできない達成感に包まれます。

ぜひ、この魅力を若い技術者の方にも味わっていただきたいと思っています。



～地域住民とのコミュニケーションについて～

私たちの工事現場では、地域の方々とのコミュニケーションを深めるため様々な取り組みをしています。

例えば、将来この道路を利用することになる地域の保育園児を現場に招待して、現場で働く重機に乗ってもらったり、地域のゆるキャラ「すくなっつー」と一緒に体操をしたりしました。

単に道路を造ってつなげていく仕事ではなく、地域の方々と心をつなげていけるような仕事になるよう頑張っています。

